

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀市立勸興小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての学級担任が研究授業「体育：体づくり運動」「自立活動」を実施した。また、学習状況調査結果の分析を全職員で行い、誤答傾向から課題解決に向けた具体的取り組みを考えマイプランに記述し、達成基準を超えることができた。</li> <li>学期毎に多読者を称賛し、図書館利用促進を図った。全児童の約75%が、各学年の目標を達成できた。</li> <li>毎月の便りで規則正しい生活習慣の大切さを啓発したが、全校に実施した生活チェックの結果、早寝ができていないと自覚している児童は全体の5割程度にとどまった。</li> </ul>
------------------	---

2 学校教育目標	<p><b>豊かな心で 勸興魂の実現をめざす 子どもの育成</b>      勸興魂「勉強はベストをつくし 運動はくたくたになるまで」</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>①学力向上の推進    ○つきたい力を明確にした授業    ○自ら学び続ける授業への改善    ○知識・技能の定着    ○問題解決型学習の推進    ○学習規律確立、家庭学習充実    ○すき間読書の奨励</p> <p>②豊かな心の育成    ○基本的な生活習慣の確立「凡事徹底」あいさつ、くつ・スリッパ揃え、整理整頓、無言掃除、立腰    ○支持的風土にもとづく学級経営    ○いじめを見逃さない土壌づくり    ○ボランティア活動の推進</p> <p>③特別支援教育の充実    ○個に応じた指導の充実    ○自己有用感の醸成    ○自尊意識の醸成    ○UD化の推進    ○特別支援学級の充実    ○通級指導教室の活用</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上	・学習状況調査の誤答傾向から得た共通取組を実践する。							まなびあい部
	○伝え合う力を高める授業実践	○学習指導要領解説を読み込み、解説書の授業実践を学期に1回以上行う教師80%以上	・学級の実態に応じて、指導要領に記されている「例えば」の授業実践や「言語活動例」をどの場面・形式で取り入れたら効果的かを探り、授業の中に組み込む。							まなびあい部
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○異学年縦割り活動(はと活動)時に、自他を尊重・思いやり・社会性・倫理観・正義感の観点での振り返りタイムを毎回確保する教師70%以上	・相手を思いやる児童の言動を、はと活動で毎回1つ以上取り上げて意識づける。							ふれあい部
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○毎月1回児童と保護者アンケートを実施し、気になる記載には、必ず複数担任で対応する教師80%以上	・児童の気になる言動や保護者からの相談があった場合、複数担任、管理職と相談しながら指導を行う。日頃から児童の小さな変化を注視し、いじめの未然防止に努める。							ひびきあい部
	○礼儀を尊重する教育活動	○「ありがとう」のお礼の言葉が言え、立ち止まって朝のあいさつができる児童80%以上	・あいさつレベル(聞こえる声で、相手を見て、先に、立ち止まって)ができた児童を見付け、1日3人以上を称賛する。							ひびきあい部
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	●学校の授業以外の時間で遊びや運動を行う時間が、5日間で300分以上の児童70%以上	・令和元年度設置「一人のできる運動遊具」の利用を児童に呼びかけたり、整備したりする。 ・「一人のできる運動遊具」の増設							ひびきあい部
	○体づくり運動を取り入れた体育授業の実践	○80%以上の体育の授業で、体づくり運動を取り入れる。	・主運動につながる運動遊びを取り入れる。							ひびきあい部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・金曜日を定時退勤日に設定して実行 ・電子掲示板を活用した校内連絡を増やし、連絡会の時間短縮							管理職
	○業務をスムーズに推進するための職員室の整理・整頓	○毎週金曜日に机上の整理・整頓を行う教師80%以上	・職員室机上はPCのモニターより低くする。							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
◎夢や目標を考える学習の推進	◎勸興のよさを誇りに思い、自分の将来像を描く児童の育成	◎『勸興読本』や地域教材で学び、自身の夢や目標について考える学習を行う教師80%以上	・勸興校区の歴史や現状に関心をもたせ、公民館や関係機関の協力を得て、調べる活動や体験活動を仕組む。							教務主任 各教科主任
○特別支援教育の充実	○支援を要する児童の情報交換と支援の方法の研修充実	○木曜日の情報交換会で、情報を共有し指導に生かす教師90%以上	・特別支援教育に関する研修会を年3回以上実施 ・チェックシートを利用した特性理解							特別支援教育コーディネーター
○複数担任制の活用推進	○複数担任制による学年経営・特別支援学級経営の充実	○自学級以外の児童と関わる教師100%	・生活指導事案発生時及び保護者からの相談には複数担任で対応する。							学年主任

●…県共通    ○…学校独自    ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
----------------	---